

注意事項

※募集する奨学生は、下記出願条件と人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由により修学が困難とみとめられる者が対象となります。なお、特に記載がない場合は、日本人学生対象です。

※各奨学会の希望者の中から、家計収入や成績により内部選考を行い推薦者を決定します。

※下記の奨学会を希望する者は、「公益法人奨学会願書（内部選考用）」（父母及び本人（本人に所得がある場合）の所得関係証明書と成績証明書を添付）と「希望奨学会申込票」を締切日までに学生部生活支援課奨学チームに提出してください。

※出願に必要な書類は充分にご確認の上提出してください。

※一度提出した書類は返却できませんのでご承知ください。

内部選考を行う公益法人奨学会募集について(第2回)

申込締切日:4月17日(火)

願書配付及び申込受付:学生部生活支援課奨学チーム

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	奨学金月額	推薦人数
吉田育英会 〈マスター21〉 予約採用	<p>学 部：2007年9/10月または2008年4月に大学院自然科学系研究科の修士課程(医学・獣医学を除く)に進学を希望する理、工、農、薬学部学生で次の全ての条件に該当する者</p> <p>(1) 2007年4月に4年生に進級した者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 30歳未満の者 (4) 指導教員の推薦を受けられる者</p> <p>※この奨学金は大学院に進学を希望する学部学生に対し、修士での学校納付金の同額を給与する奨学金制度です。採用になった場合、修士課程での入学料・授業料免除制度は受けられません。</p> <p>給与期間：修士課程2年間</p>	可 ただし、学費を支給する奨学金との重複は不可	給与 修士課程での学校納付金(入学料・授業料)の実費(250万円を限度とする)もしくは月額8万円	1
森安大学院生 奨学基金	<p>大学院:経済学研究科・新領域創成科学研究科の博士で学業優秀でありながら経済的理由から就学が困難な者 ※指導教員の推薦を受けられる者にかぎり(推薦者には指導教員による推薦調書を記入していただきます) ※推薦された者は奨学基金設立者に関する記事の感想文,研究業績(発表した論文等)及び研究計画書の提出が必要になります)</p> <p>給与期間:採用時(7月予定)から正規の最短修業年限まで</p>	不可 日本学生支援機構(旧育英会)は可	給与 40,000円	1

<p>電通育英会 (大学院給付)</p>	<p>大学院: 人文社会系研究科の修士1年で、学業・人物ともに優秀かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる者</p> <p>※内部選考後、推薦候補者は「研究計画書」を提出する必要があります。 ※奨学生は、採用式(7月)、定例面談・セミナー(年2回)、「奨学生の集い」(秋)に出席すること ※奨学生に対する留学奨励金制度があります。</p> <p>給与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可 日本学生支援機構 は可</p>	<p>給与</p>	<p>80000円</p>	<p>1</p>
<p>電通育英会 (学部貸与)</p>	<p>学部: 学業・人物ともに優秀かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる学部学生(学業成績が5段階評価3.5未満の者、家計支持者の収入が給与所得者で年収1038万円以上(給与所得者以外の場合は所得552万円以上)の者、学士入学の者は除く)</p> <p>※内部選考後、推薦候補者は小論文を提出する必要があります。 ※奨学生は秋に開催する「奨学生の集い」に出席すること ※奨学生に対する留学奨励金制度があります。 ※成績優秀による返還免除制度設置予定</p> <p>貸与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可 日本学生支援機構 は可</p>	<p>貸与</p>	<p>40000円</p>	<p>—</p>
<p>新日本奨学会</p>	<p>学部: 学部3年生で、学業成績、人物ともに優秀かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められる者 (成績を重視する)</p> <p>※推薦者には、5月18日(金)午後に新日本奨学会の面接があります。 ※採用された奨学生は奨学会の行う懇親会や面接等に必ず出席してください。 ※対象学部に該当者がいない場合、他学部からも推薦することがあります。</p> <p>給与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>給与</p>	<p>47000円</p>	<p>法 1 経 2 工 2 理 2 農 1 薬 1 教育 1</p>
<p>味の素奨学会</p>	<p>学部: 化学をはじめとする理系全般の学科を専攻する者で成績抜群にして身体強健、志操堅固な学部3,4年 大学院: 化学をはじめとする理系全般の学科を専攻する者で成績抜群にして身体強健、志操堅固な者</p> <p>貸与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>貸与</p>	<p>学部自宅 30000円 自宅外35000円 大学院自宅40000円 自宅外45000円</p>	<p>2</p>

<p>中村積善会</p>	<p>大学院:修士2年で優秀な研究資質を有し,家庭的に不遇にして奨学金返却困難と認められる者 ※指導教員の推薦が必要です ※次に該当する者は資格がありません ・最短修業年限を超えて在学する者 ・勤務先から派遣されて在学する者 ・大学院における研究に支障のあるような定職又はアルバイトに従事している者 ・学年途中で休学がみこまれる者(留学等) ・10月入学者</p> <p>給与期間: 正規の最短修業年限まで(平成19年4月～平成20年3月)</p>	<p>不可</p>	<p>給与</p>	<p>修士 88000円</p>	<p>1</p>
<p>上月スポーツ・教育財団</p>	<p>学部:デジタルゲームに係る分野の研究を行っている者で学業成績・人物ともに優秀で修学意欲がある工学部3、4年生。 給与期間: 2007年4月から2008年3月まで</p>	<p>可</p>	<p>給与</p>	<p>50000円</p>	<p>1</p>